

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	アスレティックリハビリテーション I	講義・実技	6	40/90	測定評価
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
AT学科 1年	福島 俊彦	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
アスレティックリハビリテーションの意味を知り、その実践にあたって必要となる基礎的知識の習得をねらいとする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>Ⅰ:1)アスレティックリハビリテーションの考え方 2)運動療法の基礎知識 3)物理療法の基礎知識 4)補装具の使用に関する基礎知識  Ⅱ:1)上肢疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際 2)上肢疾患へのアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実施 3)体幹疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際 4)体幹疾患へのアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実施 5)下肢疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際 6)下肢疾患へのアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実施  Ⅲ:1)アスレティックリハビリテーションに必要な競技種目特性について 2)動作遂行に要する機能的要素について 3)各競技種目に要する体力的な特性について 4)各競技種目における外傷発生機転について 5)各競技種目に復帰するにあたっての機能的、体力的到達目標について 6)各競技種目のアスレティックリハビリテーションの概要について 7)リハビリテーションプログラミングの過程と方法について”</p>					
教科書・参考書					
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意  授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡し下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション リハビリテーションの概念と定義		/	福島
2		アスレティックリハビリテーションにおけ るエクササイズの目的		/	福島
3		筋力回復、筋力増強エクササイズ(1) 講義及び実習		/	福島
4		筋力回復、筋力増強エクササイズ(2) 講義及び実習		/	福島
5		筋力回復、筋力増強エクササイズ(3) 講義及び実習		/	福島
6		筋力回復、筋力増強エクササイズ(4) 講義及び実習		/	福島
7		関節可動域回復、拡大エクササイズ (1)講義及び実習		/	福島
8		関節可動域回復、拡大エクササイズ (2)講義及び実習		/	福島
9		関節可動域回復、拡大エクササイズ (3)講義及び実習		/	福島
10		神経筋協調性エクササイズ(1) 講義及び実習		/	福島

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		神経筋協調性エクササイズ(2) 講義及び実習		/	福島
12		全身持久力回復、向上エクササイズ :講義及び実習 身体組成の管理に用いるエクササイズ :講義及び実習		/	福島
13		再発予防、外傷予防のための 動作エクササイズ:講義及び実習		/	福島
14		物理療法の基礎知識:講義及び実習		/	福島
15		補装具に関する基礎知識 :講義及び実習		/	福島
16		定期試験		/	福島
17		肩関節前方脱臼への アスレティックリハビリテーション		/	福島
18		投球障害肩への アスレティックリハビリテーション		/	福島
19		肘関節内側側副靭帯損傷への アスレティックリハビリテーション  上腕骨内側・外側上顆炎への アスレティックリハビリテーション		/	福島
20		手関節捻挫への アスレティックリハビリテーション		/	福島

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	アスレティックリハビリテーション I	講義・実技	6	50/90	測定評価
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
AT学科 2年	福島 俊彦/松家 弘卓	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
アスレティックリハビリテーションの意味を知り、その実践にあたって必要となる基礎的知識の習得をねらいとする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>Ⅰ:1)アスレティックリハビリテーションの考え方 2)運動療法の基礎知識 3)物理療法の基礎知識 4)補装具の使用に関する基礎知識  Ⅱ:1)上肢疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際 2)上肢疾患へのアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実施 3)体幹疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際 4)体幹疾患へのアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実施 5)下肢疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際 6)下肢疾患へのアスレティックリハビリテーションのプログラミングと実施  Ⅲ:1)アスレティックリハビリテーションに必要な競技種目特性について 2)動作遂行に要する機能的要素について 3)各競技種目に要する体力的な特性について 4)各競技種目における外傷発生機転について 5)各競技種目に復帰するにあたっての機能的、体力的到達目標について 6)各競技種目のアスレティックリハビリテーションの概要について 7)リハビリテーションプログラミングの過程と方法について”</p>					
教科書・参考書					
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意  授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡し下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		頸椎捻挫への アスレティックリハビリテーション		/	福島
2		腰部疾患への アスレティックリハビリテーション		/	福島
3		腰部疾患への アスレティックリハビリテーション		/	福島
4		腰部疾患への アスレティックリハビリテーション		/	福島
5		足関節捻挫への アスレティックリハビリテーション		/	福島
6		膝関節内側側副靭帯損傷への アスレティックリハビリテーション		/	福島
7		膝関節前十字靭帯損傷への アスレティックリハビリテーション		/	福島
8		大腿屈筋群肉離れへの アスレティックリハビリテーション		/	福島
9		扁平足、脛骨過労性骨障害への アスレティックリハビリテーション		/	福島
10		鵞足炎、膝蓋大腿関節障害への アスレティックリハビリテーション		/	福島

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		競技種目特性の考え方について		/	福島
12		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	福島
13		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	福島
14		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	福島
15		定期試験		/	福島
16		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
17		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
18		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
19		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
20		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
22		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
23		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
24		競技種目特性における 動作特性と体力特性		/	松家
25		まとめ		/	松家
定期試験					
26				/	
27				/	
28				/	
29				/	
30				/	